

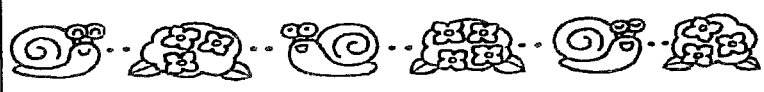
健康だより



梅雨の季節に近づきました。湿度・温度ともに高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、体調を崩しやすい時期でもあります。今月は、親子交流会（幼児）、プール開き、お泊り保育等のたくさんの行事を予定しています。楽しい思い出がたくさん作れるように、過ごしやすい環境づくりに配慮し、体調管理を心がけましょう。

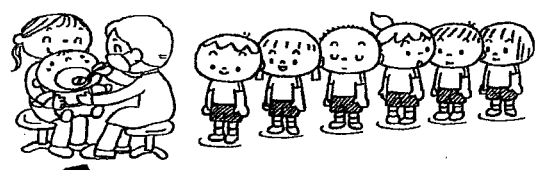
本日は園医のクラ先生による歯科検診が行われました。結果は以下の通りです。虫歯のあったお子さんは、早めの治療をお勧めいたします。

歯科検診結果報告



本日行われた歯科検診の結果、歯磨きの習慣付けが、虫歯予防の第一歩です。特に夕食後（寝る前）の歯磨きは効果的です。10歳位までは大人の磨き直しが必要とされています。保育園では、2歳児の年少への移行準備の頃より食後の歯磨きを行っています。それまでは、食後に湯冷ましを飲み口の中を清潔に保つように心がけています。また、指しゃぶりによる、不正咬合の子が増えています。3歳頃を目安に気を付けていきましょう。噛み合せは大切です。

年齢(人数)	受けた人	虫歯	
		ある人	ない人
0歳児(13人)	8人	0人	0人
1歳児(20人)	19人	0人	0人
2歳児(27人)	27人	1人	26人
年少児(30人)	30人	3人	27人
年中児(32人)	31人	7人	24人
年長児(33人)	31人	6人	25人



5月の感染症

▷ RSウイルス.....1名

プール遊びが始まります。

でもその前に・・・！



プール開きは19日(木)の予定です。夏の間、下記の点を配慮し安全で楽しい水遊びを思いっきり経験させたいと思っています。プールカードの記入は、水遊びの好き嫌いではなく体調に応じて○・×を付けて下さい。

- ★ 髪の毛・・・肩にかからない様に結ぶか、短くしましょう。(頭じらみの予防になります)
- ★ 爪・・・短く切りましょう。裸足になる機会が多くなります。

《子どもの爪は、伸びるのが早いので、毎週確認して下さい。》

- ★ 水イボ・・・光沢のある直径1～5mm.の半球上のイボ。イボが潰れると中のウイルスが他に付き自分の中で増えて、他人にもうつる事があります。“おかしいな？”と思ったら受診して診断を受けるようにして下さい。

《接触によって感染するので、園ではTシャツを着用する、防水テープ等でイボをカバーしてからプール遊びをしています。イボの大きさや場所、数によって対処方法が異なるので、水イボのある方はお知らせください。》

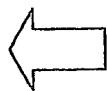
- ★ とびひ・・・虫刺されや擦り傷に菌が入り、水ぶくれとなり強いかゆみを伴う。身体のあちこちに『飛び火』する皮膚病です。感染力が強く次々と広がり接触すると他の人にもうつります。

《治療することにより1週間程度で治ります。原則として、とびひがあるうちは、プールは控えていただきます。プールの許可はかかりつけ医に確認して下さい。》

気をつけよう！夏に流行する病気・・・

★ フール熱 (咽頭結膜熱)

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。登園許可書が必要です。



★ ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ぶくれや潰瘍ができるため、かなり痛みがある。(乳児はミルクが飲めないほど)。

★ 手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水泡ができ、熱が出ることも。口の中が痛み、食事が摂れないこともある。



※ 手足口病とヘルパンギーナは登園停止の病気ではありませんが体調が十分に整ってから登園して下さい